

日本音楽即興学会第17回大会

大会テーマ

即興と認知・情報科学

基調講演: 大黒 達也

「予測する脳と即興する身体: 創造的感性を支える身体知の探求」

博士(医学)。東京大学次世代知能科学研究センター准教授、ケンブリッジ大学客員研究員。オックスフォード大学、マックスプランク研究所などを経て現職。

<https://www.ai.u-tokyo.ac.jp/ja/members/daikoku>
<https://researchmap.jp/tdaikoku-kyo>

日時: 2026年2月21日(土), 22日(日)

場所: 日本大学文理学部内 ラーニングコモンズ(〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40)
(<https://chs.nihon-u.ac.jp/campus-life/kyogaku-s/learning-commons/>)

※ 本大会は対面での実施となります。Zoomでの配信はありませんのでご注意ください。

大会実行委員長: 北原 鉄朗(日本大学文理学部)

プログラム

■ 2月21日(土)

発表1 [研究発表] 発表者: 長嶋 洋一「成り行き即興」と「作り込み即興」についての考察 — EXPO2025に参加して —

発表2 [研究発表] 発表者: 小杉 亜衣「身体は即興において自由か—日本舞踊経験者の動きにみる「素」と「練習」—」

発表3 [研究発表] 発表者: 寺内 大輔「集団即興演奏中に何を考えていたか—

即興演奏の経験豊富な演奏者と経験の少ない大学生を対象としたケーススタディー—」

発表4 [ワークショップ] 発表者: ササマユウコ「即興力フェVol.12

『《幻聴妄想かるた》のサウンドスケープ～〈きく〉と〈みる〉の境界で対話する』対話者: 新澤克憲

基調講演

総会

交流会

■ 2月22日(日)

発表4 [研究発表] 発表者: 小林 梨紗「場面に応じた即興演奏は、どのように「見える」ようになるのか」

発表5 [研究発表] 発表者: 沖中 春志郎「生成」としての即興、「蕩尽」としての身体:

「身体のサウンドスケープ」と「歴史的身体」の再解釈

発表6 [研究発表] 発表者: 名嘉 三月「ダウン症成人男性との音楽療法:既成曲と即興における表現の相違に着目して」
学内ツアー(自由参加、北原研究室、実験室ツアー)

発表7 [研究発表] 発表者: 山辺 未希「学生は集団即興演奏の経験をいかに語るのか:

大学一般教養科目の授業実践を手がかりに」

発表8 [ワークショップ] 発表者: 本多峰和「オンガクを開いていく身体～礫(こいし)を題材として～」

発表9 [ワークショップ] 発表者: 村瀬公美子「<ワークショップ>テーブルサイズの即興音楽(仮)」

学会賞授賞式

閉会式

参加申し込み方法、詳細
<https://jasmim.net>

